

画家の庭



北海道風景画館を主宰する風景画家奥田修一と妻シルビア・アギーレ(漆修復家)が、20年にわたり育てて来た庭。庭で描かれた絵画もあり、レプリカを実物のモチーフと見比べることも出来ます。ゆったりと木漏れ日のデッキでお茶も楽しむこともできます。花と言うより画家の好む空間、ライフスタイルが感じられる庭。



ご案内

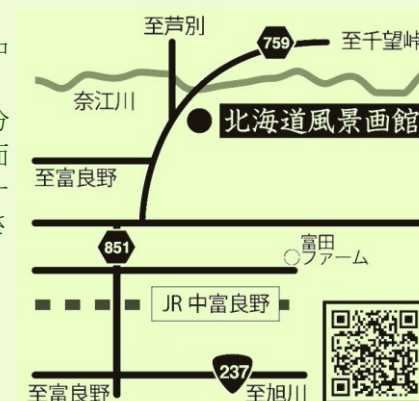
- 期間 4月29日～10月15日(多少の変更もあります。)
- 開園 10:00～16:00
- 入園料 大人400円、中高生300円
(北海道風景画館との共通券 大人700円、中高生500円)

■交通

自家用車 国道237の富良野と中富良野間の中富良野寄りの信号を、奈江方面道道851に入り約7km。分岐点では風景画館の看板、奈江方面の標識に進む。旧奈江小学校。(カーナビでは富良野風景画館で表示されることがあります。)

タクシー

中富良野駅より 約2,500円程
富良野駅より 約3,500円程



■お問合せ

北海道風景画館 T/F 0167-44-4477
〒071-0737 北海道空知郡中富良野町奈江(無番地)
gakanoniwa.net facebook.com/gakanoniwa
hokkaidofukeigakan.jp facebook.com/hokkaidofukeigakan



■庭で描かれた絵画(レプリカを展示)

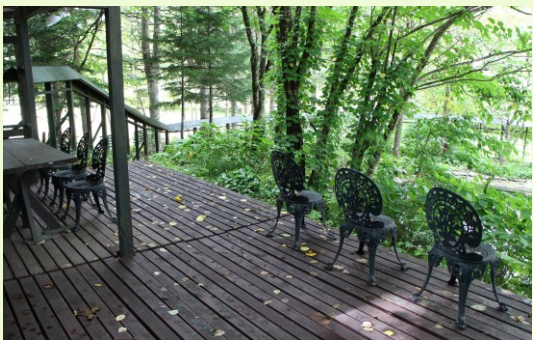


(夏の日)



(花筏)

■ウッドデッキでゆつたりとティータイム←



■吹雪の中の風景画館 →

■葉擦れの木下道(奥田の短歌を所々に展示)

私の血の香りに寄りし蚊の一つ潰せし後に母と気付きぬ

石三つ道端に置き明日来る目印として絵筆を洗う

黒人の盲目少年その見えぬ肌の色にて差別を受けぬ

悲しみは心を洗う雨のごと雨に打たれて人は行くべし

弱くて傷付き易く痩せ細り愛を語りて愛を生きたり

